

平成 24 年度建設施工の地球温暖化対策検討分科会 議事概要

1. 日時：平成 25 年 2 月 20 日（水） 13：30～15：30
2. 場所：中央合同庁舎 2 号館低層棟 1 階 共用会議室 1
3. 議事概要
事務局より資料に基づき説明があり、了承された。

【委員からの主な意見】

- 補助金等で国の税金が使用されることも想定されるため、燃費値の自社測定結果について、サンプル検査等のチェック機能を持たせる等、国交省の確認は慎重にした方が良い。
- エンドユーザーはメーカーが貼ったラベルを信じるしかない。認定の仕組みはきちんとしたものを作ってほしい。
- 認定規程について、内容の解説書を作成した方が良い。
- 自動車燃費基準策定においてはトップランナー値にハイブリッド車の値を含めるかどうかを検討し、2020 年度燃費基準値に反映しているので、確認して参考にしてほしい。
- 電動建機の燃料消費量を通常の建機と比較するための換算方法については、今後の自動車の動向等を踏まえながら検討していく必要がある。
- 自動車では燃費の見える化により燃費向上の意識が高まる。建機でも建機遠隔情報管理システム等の利用実態等を踏まえながら、可能であれば実燃費の見える化を検討していくと良い。
- 燃費の優れた建機を使用することのインセンティブは、工事の入口（総合評価における加点等）だけでなく出口（工事成績評定等の事後評価）でも検討した方が良い。
- 機械単体や施工方法だけでなく、施工機械の組み合わせや建機遠隔情報管理システムの活用等トータルで CO2 削減を図る手法についても今後検討した方が良い。
- 燃費向上の効果として、工事の効率化、資源の有効活用といった点を前面に出して広報していった方が良い。